

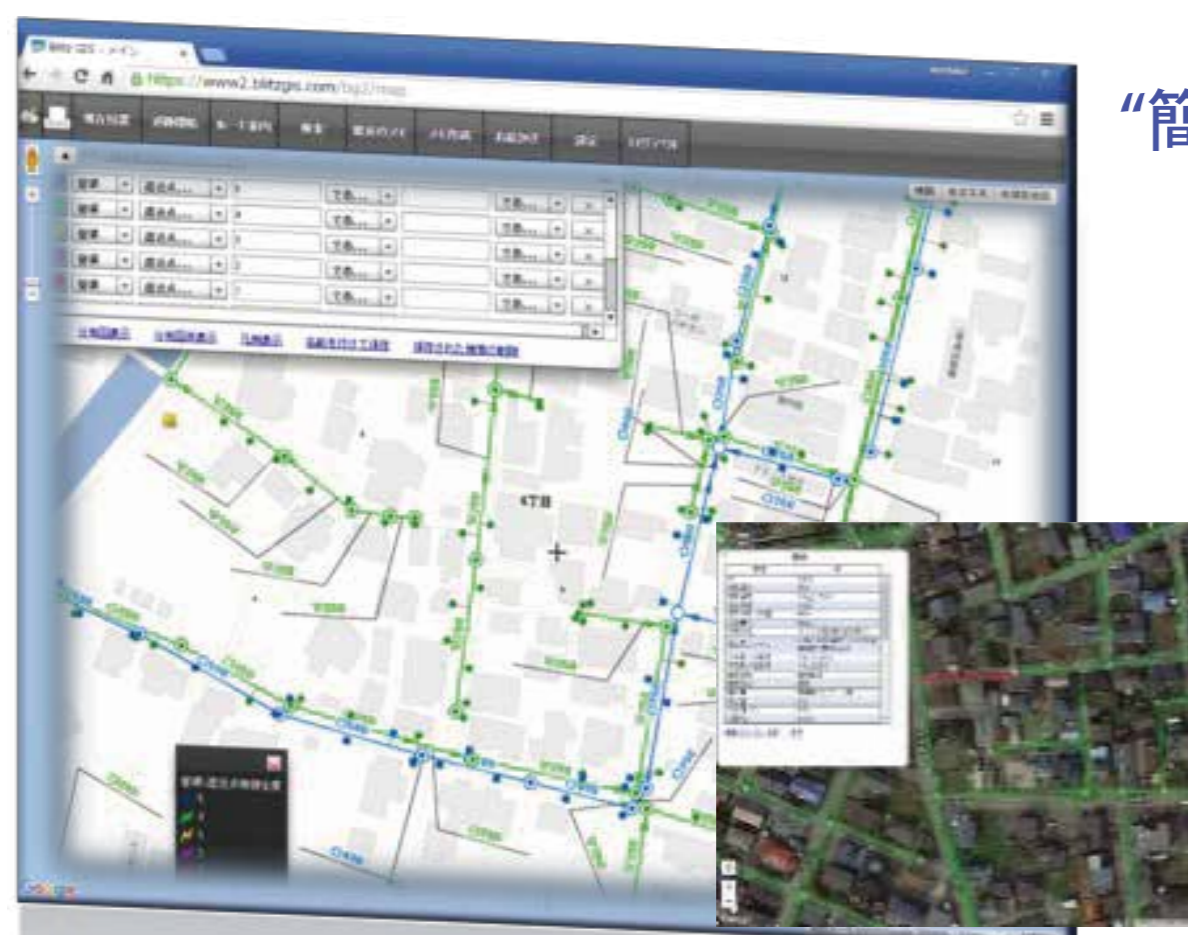
# 『Blitz GIS』クラウド型上下水道管路台帳システム

いつでも、どこでも、かんたん、やさしいシステム

Blitz GIS (ブリッツ・ジー・アイ・エス) は、上下水道の管路管理を簡単な操作で行える管路台帳システム (サービス) であり、日常業務の支援に加え、災害時にも威力を発揮します。

## Blitz GISの特徴

Blitz GISは、管路台帳システム導入における高機能/高価格のハードルを解消した簡単/安価なシステムです。維持管理業者等を含む関係者全員での利用や現場対応、災害時の非常時対応としても活用いただけるクラウド型の管路台帳システムです。



“簡単に使いたい、もしもの時に備えておきたい”お客様にマニュアル要らずのシンプルなシステム

GoogleMaps<sup>※1</sup>や地理院地図<sup>※2</sup>、といった地図のほか、航空写真やストリートビューも利用可能。

### いつでも

- インターネットにアクセス可能なパソコンやタブレット、スマートフォンでいつでも利用可能。
- 大規模災害時も**継続運用**し、セキュリティ対策も万全。



### どこでも

- 事務所や現場等、**どこでも**管路施設の情報確認。
- GPSで現在地表示。
- メモ登録でコメントや写真・動画を**瞬時に共有**。

### かんたん

- インターネット地図感覚で、技術職や事務職を問わず、**かんたん**操作。
- 維持管理情報を登録し、過去の履歴や現場写真をまとめて管理。

### やさしい

- クラウドだから面倒なシステム管理は不要。
- 施設データの更新もBlitz サポート<sup>※3</sup>で**安心!**

基盤となる施設情報は当社が責任をもって更新致します。

## 導入実績 (一部)

発注者	導入のきっかけ
北海道 A町	従来のオンプレミス型と比べ、背景地図の更新や機器の管理が不要となり職員の負担軽減が見込まれることからクラウド化。胆振東部地震(2018)では、同時利用者数の制限を解除し、災害査定に必要な一次調査登録を応援事業体と実施。
B県 下水道局	BCPとして本システムを導入していたが、管路施設の竣工図の図面管理や、点検・調査結果の維持管理情報の集積、事故や災害情報の登録等、用途が広がっていった。現在ではタブレットを活用し、人孔蓋の点検結果を現地で直接登録する仕組みを構築し運用中。 <b>活用イメージ</b> タブレット一つで確認 & 撮影
千葉県 C市	水防活動に求められる降雨状況や道路冠水等のリスクを共有することを目的に構築。管路内の水位情報をリアルタイムに発信する設備と併せて導入。現在では、雨水管理総合計画のソフト対策に位置づけて運用している。 <b>活用イメージ</b> 管路内水位や浸水リスク情報を確認

上記に加え、約40の上下水道事業体が運用中です。

## お客様の声


緊急時にタブレットのみで現場に急行し、迅速な一次対応ができる。

布設情報とあわせ、現場情報をリアルタイムに共有できるのが便利。

窓口にタブレットを置いたことで閲覧業務など職員の手間が減った。

Webサービスなのにスムーズで、ナビ連携も便利。使う場面が増えた。

リーズナブルで大勢で使え、災害時の備えとしても安心。

※1 Google Maps™は、Google LLC の商標または登録商標です。  
 ※2 地理院地図™(地理院タイル)は、国土地理院の商標または登録商標です。  
 ※3 Blitz サポート はデータ更新や台帳図出図など、お客様のBlitz GIS利用を支援する従量制の有料サービスです。  
 ※4 Blitz と  は、株式会社日水コンの登録商標です。

我々がシステムをサポートします!

マイカーにもようやくカーナビが付きました。

